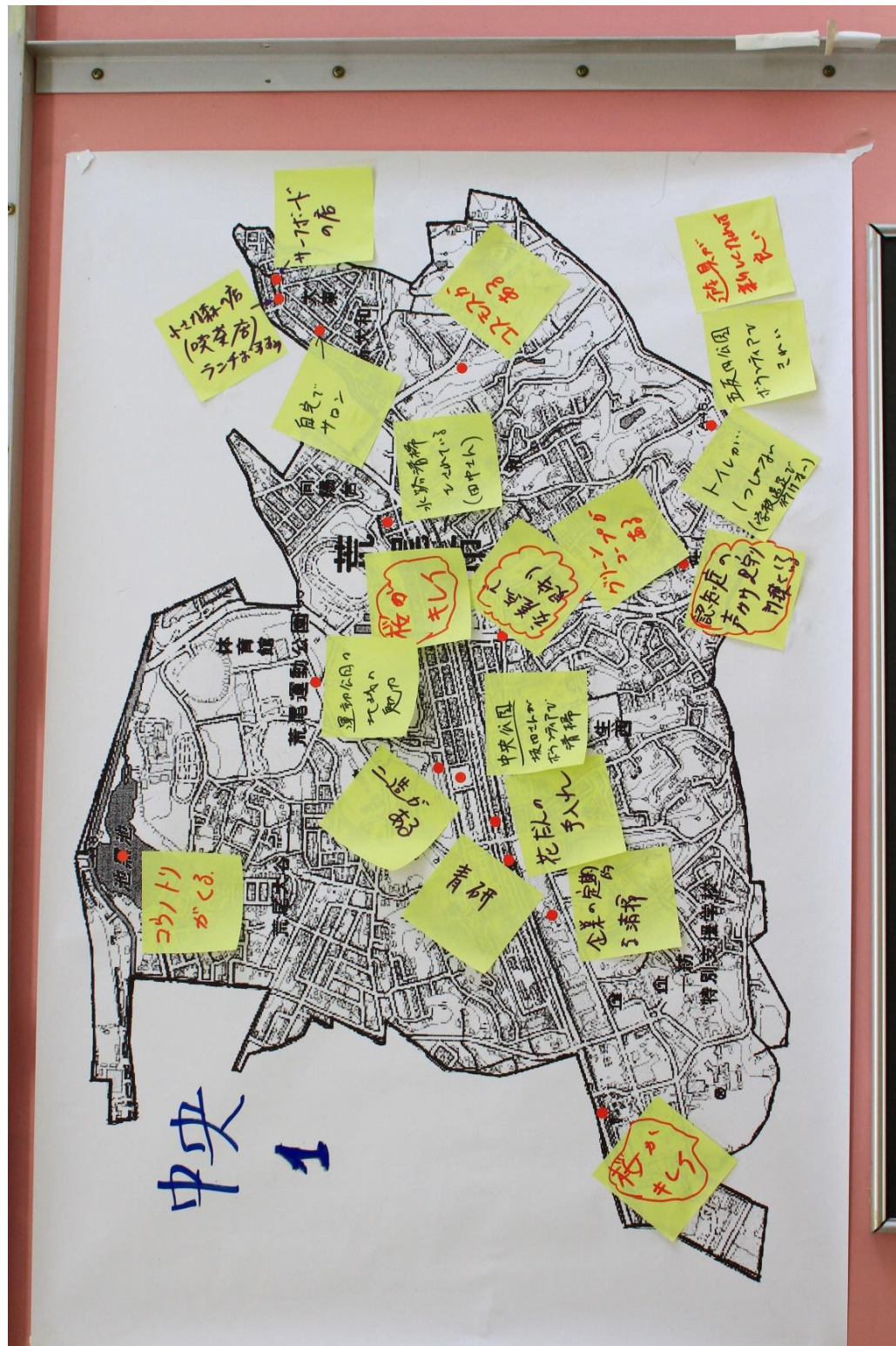


【中央地区で出た主な資源】



中央地区 第一回ワークショップレポート

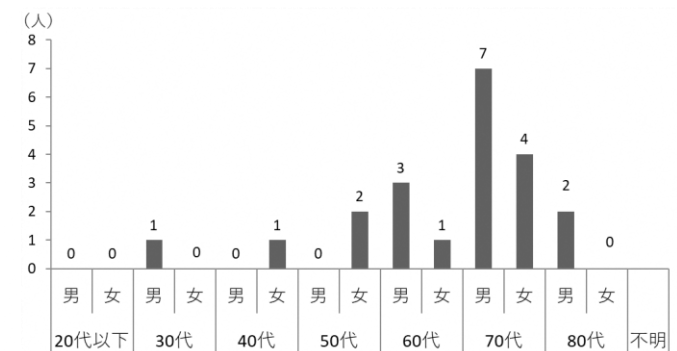
荒尾市では、人口減少が続く中でも、地域の特性を活かした魅力ある地域づくりを行うため、今年度、まちづくりの計画（総合計画）を策定します。計画策定にあたって、住民の皆さんが感じている普段の困りごとを語り合う、ワークショップを開催しました。

第一回は、地区の「困りごと」「自慢」を各グループで出し合い、重要度が高いものを3つずつ選びました。

今後は、話し合った内容を基に、地区の計画としてまとめていく予定です。

【中央地区】
日時：8月17日（土） 19時～
場所：中央区団地集会所
参加者数：21名

【中央地区の参加状況】



中央の困りごと

【自治会】

- ・自治会に入らない人、抜ける人が多くなっている
- ・地域のために動く人、役員になつてくれる人がいない
- 地域環境の整備ができていない
- 通学路の草刈りを1人でやっている方もいる
- ・回覧板が止まる

【コミュニティ】

- ・地域の付き合いがなくなり、集まりが悪い、同じ人ばかり集まる
- ・子供会が少ない、ない
- ・公民館がない地域がある。あっても遠く、高齢者がいけな
- ・地域の祭りがなくなって寂しい

【空き家】

- ・空き家が多い
- 樹木や雑草の管理ができない
- 持ち主がわからない空き家を解体したあとの空き地に草が生え、タバコのポイ捨てでボヤが発生した（市が草を刈れないか）

【環境】

- ・外灯が暗い、ない
- ・ごみのマナーが悪い
- 中央公園にいつもごみがある
- リサイクルの場所に外部からの持ち込みもある
- 曜日がわかっていない人がいる

【その他】

- ・買い物が不便な地域がある
- ・車のマナーが悪い（路上駐車、車・自転車のルール）
- ・野良猫が多い
- ・バス停にタバコの吸い殻を捨てる人がいる

* 数字は同じ項目を重要と選んだグループの数

【まとめ】中央地区の課題と自慢

【中央地区の課題】

1. 自治会活動が円滑にいかない

- ・自治会を抜ける人が多く、入る人が少ない（3）
- ・隣近所のおつきあいが少ない（2）
- ・公民館等役員のなり手が少ない（2）
- ・行事に協力する人が少ない（高齢化率31.4%／市内10位）

3. 地域環境が整っていない

- ・空き家が多く、雑草や木などが問題
- ・中央公園にゴミがある
- ・買い物をするところがない

【中央地区の自慢】

1. 花・自然がいっぱい

- ・桜がきれい（中桜祭など）
- ・花いっぱい運動が盛ん
- ・コウノトリも飛来する

2. 地域を見守る人がいる

- ・交差点で毎日見守りをしてくれる
- ・認知症の声掛け訓練をやっており、地域で活動している

3. 環境がいい

- ・スポーツ関連施設が身近
- ・商業施設・病院が近い
- ・交通の便がいい
- ・中央公園がある
- ・五反田公園がある

中央地区の自慢

【イベント】

- ・祭りなどの地区の行事をがんばっている
- 春の市、中桜祭、夏祭、秋祭、納涼祭
- 住民との餅つき大会、シオン園のクリスマス会

【地域環境・自然】

- ・桜、コスモス、住宅の花壇などの花いっぱい運動
- ・公園の清掃などのボランティアを率先してやってくれている人がいる（五反田公園、中央公園、水路）
- 防犯ボランティアも朝夕立っている
- ・病院が多い
- ・コウノトリが飛来している
- ・運動公園のウォーキングロード

【店舗・施設】

- ・認知症などの声掛け、見守り訓練をやっている（新生区）
- ・小さな森の店、サーフボードの店など特徴ある店がある
- ・ふくやまベーカリーがある
- ・大東区サロンは公民館がなくても役員宅でやっている
- ・青研がある
- ・荒尾二造がある

【人】

- ・長生会会長がボランティアをがんばっている

【その他】

- ・市民プールのおかげで中央小はプール解放がなくてたすかる
- ・荒尾で一番子どもが多い中央小学校の教育環境